

●セミナーコーディネーター
大塚 有希子

プロジェクト・デザイン合宿研修概念図

[illegible]

●監修 **当麻 哲哉** Tetsuya Toma 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授、SDM研究所 マネジメントデザインセンター 代表、博士(システムデザイン・マネジメント学)、Project Management Professional(PMP)。

"One-B"

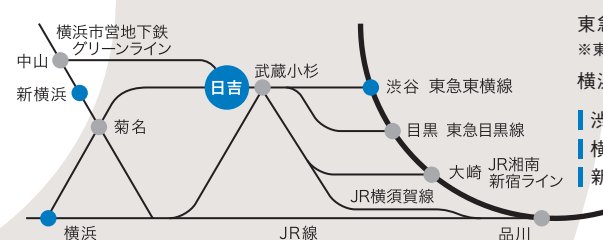
Unstated,
Expected
Quality

Dissatisfied

協生館宿泊施設

協生館

●交通アクセス



日吉駅直結

- 渋谷～日吉：急行18分（通勤特急16分）
- 横浜～日吉：急行12分（通勤特急10分）
- 新横浜～菊名～日吉：14分

<http://www.sdm.keio.ac.jp/>

SDM プロジェクト・デザイン
System Design and Management **合宿研修**



2017 10.11 水 → 10.13 金 計6日間
11.6 月 → 11.8 水

IBA® Japan Chapter



PFI
JAPAN CHAPTER

ENAA
Engineering Advancement Association of Japan



ITCA
IT Coordinators Association

特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会

【主催】



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
システムデザイン・マネジメント研究所マネジメントデザインセンター

合宿研修スケジュール

- ワークショップ
- 理論・コンセプト
- ケーススタディ
- 行事

※スケジュール内容は変更される場合があります



前半			後半		
10/11 水			10/12 木		
10/13 金			11/6 月		
11/7 火			11/8 水		
8:00 9:00	【前泊可能】	「朝食勉強会」 当 麻・大 塚	「朝食勉強会」 当 麻・大 塚	【前泊可能】	「朝食勉強会」 当 麻・大 塚
9:15 10:30	10:00～ 開講式・事務連絡	「プロジェクトデザインとビジネスアナリシス」 大 塚	「プログラムデザインとは」 濱 (CONCEPT)	「中間発表グループ・プレゼンテーション」	「演習」 「ビジネス・リスク」 都 丸
10:45 12:00	「マネジメント・イノベーション・協創・幸せの関係」 前 野	「プロジェクトデザインとビジネスアナリシス」 大 塚	演習「ビジネスモデル・キャンパス」 濱	「中間発表グループ・プレゼンテーション」	【演習】 「ビジネス・リスク」 都 丸
12:00 13:00	昼食会 (自己紹介 & 集合写真)	昼食 (各自)	昼食 (各自)	昼食 (各自)	昼食 (各自)
13:00 14:15	研修イントロダクション 「研修概要および演習テーマ」 大 塚	「システム×デザイン思考の応用」 大 塚	【演習】 「戦略マップ」 濱	「ビジネス環境の変化と強化すべきポイント」 高 橋	「プロジェクトマネジメント」 大 塚
14:30 15:45	「システム×デザイン思考」 当 麻	「システム×デザイン思考の応用」 大 塚	【演習】 「戦略マップ」 濱	「プロジェクト遂行の戦略と戦術」 高 橋	「要求引き出しの技法」 大 塚
16:15 17:30	デザイン思考「アイデア創出」 当 麻	「ビュー・コンセプト・セクション」 当 麻	【演習】 「プロジェクトへの展開」 濱	【失敗事例から学ぶITプロジェクトの難しさ」 磯 川	【演習】 「ソリューション要求引き出し」 大 塚
17:30 19:00	夕食 (各自) & 自由時間	夕食 (各自) & 自由時間	懇親会 17:30-19:30	夕食 (各自) & 自由時間	夕食 (各自) & 自由時間
19:00 20:15	システム思考「システムアーキテクチャとシステムライフサイクル」 白坂	「顧客価値連鎖分析と欲求連鎖分析」 当麻	「プロトタイピング・スキット・事例」 長谷川	「プロトタイピング・スキット・事例」 長谷川	【演習】 「ソリューション要求引き出し」 大 塚
20:30 21:45	システム思考「システムアーキテクチャとシステムライフサイクル」 白坂	「顧客価値連鎖分析の事例」 長谷川	「プロトタイピング・スキット・事例」 長谷川	「グループ・プレゼンテーション作成」 大 塚	「多角的視点もたらす発見」 米 澤
22:00 ...	ネットワーキング (自由参加) 宿泊 ▶ 7階研修施設	ネットワーキング (自由参加) 宿泊 ▶ 7階研修施設	ネットワーキング (自由参加) 宿泊 ▶ 7階研修施設	ネットワーキング (自由参加) 宿泊 ▶ 7階研修施設	修講式 17:30-19:30

● セミナーコーディネーター

大塚 有希子
Yukiko Otsuka

株式会社富士ゼロックス総合教育研究所コンサルタント、専任講師。博士 (システムデザイン・マネジメント学)。PMP、CBAP、ITCインストラクター、1級FP、慶應義塾大学大学院SDM研究科非常勤講師。

前野 隆司
Takashi Maeno

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 委員長・教授 博士 (工学)

白坂 成功
Seiko Shirasaka

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 博士 (システムデザイン・マネジメント学)、PMP

濱 久人
Hisato Hama

株式会社NTTデータユニバーシティ プロフェッショナルCDP事業部 IPA情報処理技術者試験委員、PMI教育委員会委員、PMAJ研修委員会委員、慶應義塾大学・産業技術大学院大学・東洋大学 非常勤講師

高橋 良之
Yoshikuni Takahashi

テクノエンジニア代表

米澤 創一
Soichi Yonezawa

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 非常勤講師
元アクセンチュア株式会社マネジメント・ディレクター

磯川 昌弘
Masahiro Isokawa

クレジット・エス・アイ代表、PMP、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 非常勤講師、IT見える化協会会員

長谷川 廣明
Hiroaki Hasegawa

株式会社リコービジネスサポート本部人材開発部 シニアスペシャリスト 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 附属デザイン・マネジメント研究所 白坂研究室 研究員

都丸 孝之
Takayuki Tomaru

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任准教授 博士 (システムエンジニアリング学) 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 (慶應ビジネススクール) 非常勤講師 HR テクノロジー・コンソーシアム (LeBAC) 理事

経済産業省、中小企業庁からの優秀案件採択、表彰など。金融機関 人事部門、戦略企画部門を経て、現在は、戦略・マネジメントに関するコンサルティング、制度設計および人材育成を行っている。SDM研究所の「ビジネスデザイン×プロジェクトマネジメントラボ」のリーダー、PMP®資格受験対策講座も担当。本研修において、セミナーコーディネーターを務める。

キャノン (株)、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、ハーバード大学客員教授、慶應義塾大学理工学部教授を経て現職。専門分野: 人間システムデザイン (社会・コミュニティ、教育、地域活性化)、農業、NPO、ヒューマンインタフェース、認知科学・哲学など。著書: 「思考脳力のつくり方」 (角川新書) 「幸せのメカニズム」 (講談社) など多数。

三菱電機株式会社では「このとり」 (HTV: H-II Transfer Vehicle) の開発でアビオニクスアーキテクチャ設計、システム安全設計をはじめ、全体インテグレーションを行う。フライトコントローラとして運用終了まで実施。「このとり」開発では多くの賞を受賞。2011年度より現職。専門分野は、システムズエンジニアリング、システム×デザイン思考。2015年12月より内閣府 革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) プログラムマネージャー。

建設コンサルタントで都市計画、交通計画のプロジェクトを担当。その後パナソニック株式会社のシステムソリューション部門及び人材開発部門にてシステム開発部門のSE及びPMとして、各種プロジェクトを担当。現在は、NTTデータの研修機関である株式会社NTTデータユニバーシティに在籍。専門はプロジェクトマネジメント・事業戦略・人材育成など。現在は、事業戦略・プログラム&プロジェクトマネジメント・パーソナルスキル・技術者のキャリア形成などの研修を担当。

1964年日揮株式会社入社、国内・海外の石油精製、化学、食品加工、家電、自動車関連プラントのプロジェクトをプロジェクトマネジャーとして担当。エンジニアリング振興協会 (当時) では、80年代にプロジェクトマネジメント部会委員を務める。現在は大学を含めたプロジェクトマネジメントの講座、研修会の講師、コンサルタントなどを行っている。

2008年より非常勤講師として慶應SDMの教育に参画。2013年からプロジェクト・デザイン合宿研修で「本質把握」をテーマとした講義を担当している。約27年のアクセンチュア社におけるキャリアでは、プロジェクトマネジメント、ソフトウェア工学の専門家として大規模・高難度プロジェクトのPM、責任者を歴任。マネジングディレクターとしては、日本における品質管理責任者、プロジェクトマネジメントグループ統括、SAPグループ統括等の役割を歴任。教育には強い熱意を持っており、日本における教育責任者、アクセンチュアSAP部隊全体の人材育成責任者も勤めた。

1978年 (株) 日本ビジネスコンサルタント (現日立システムズ) 入社。約40年にわたり金融業界の数々のシステム構築・アーキテクチャ設計、プロジェクトマネジメント管理系の整備に従事した。現在はノンバンク系システムのITコンサルタントとして対応中。2014年より慶應SDMにて、ITにおけるプロジェクトマネジメントの実務面の講義を担当。また2015年よりITプロジェクトの「見える化」ノウハウの取りまとめを推進中。

顧客向けプログラマー、システムエンジニアを経て、株式会社リコーの基幹システム要求開発を担当。同時に慶應SDM研究科システムズエンジニアリング学を履修。現在も白坂研究室研究員として籍を置き、人材育成と事業創発を同時に行うメソッドを開発中。技術者、設計者、企画者などあらゆる立場から事業を創出できる方法を論理的に組み立て、論文にすることを目指している。株式会社リコーでは研究内容を各事業部で検証し、事業開発型の人材育成プログラムとして展開している。

富士ゼロックス株式会社を経て現職。米スタンフォード大学にて顧客価値分析を活用した事業創出および製品企画プログラムに参画。現在は、慶應義塾大学大学院経営管理研究科および複数の企業にて顧客価値分析を用いた事業創出プログラムを展開。専門分野は、仮説検証型のアプローチを用いた事業の創出、モノとつくりの融合 (グローバルにもつくり研究ラボの運営)、低コスト部品を調達するためのサプライヤーの開拓・評価など。

講師プロフィール

受講者のコメント

秋元 美由記 ダイハツ工業株式会社 (第7回参加者)

様々な業種・業界・年齢を交えた受講生が協働してイノベーションな問題解決に取り組むプログラムは、まさに多様化する現代社会で求められるプロジェクト・デザインを自分の肌で感じられる機会です。五感をフルに働かせて思考するエキサイティングな6日間は、これまでの価値観の壁が取り払われ、新たな次元への成長を実感できました。また、研修の枠を超えて未来に繋がる仲間に出会えることも、この研修の大きな魅力だと思います。

伊賀 智康 東京海上日動火災保険株式会社 (第7回参加者)

研修参加のきっかけは、上司の指示で前向きな理由でなかったものの、研修は、「本当に参加できて良かった」、「周りのメンバーにも是非参加してもらいたい」と心底思える内容でした。「システム思考×デザイン思考」から、アイデアを実現するためのマネジメントスキルに至るまで、講義、ワークショップを通じて実践的に学べる充実した内容でした。経験豊富な講師の皆様、志の高い受講生に囲まれ、刺激的な6日間を過ごせ、その後も交流が持てるのが、この研修の醍醐味です!!

大西 由訓 株式会社エフアンドエム (第8回参加者)

短時間のワークを高速で何度もまわすアウトプットを重視した研修でした。知ったつもりだったテーマをすぐに使えるレベルまで身に付けられたこと、概念的なものを教える技法を学べたことが大きな収穫でした。異業種の方々と共に創ることにより、普段知り得ない考え方や仕事のノウハウを身をもって知ることができました。

迫 良介 株式会社リコー (第7回参加者)

数年前から商品開発やPMの在り方を考え、悩んでいました。市場が成長している時は商品計画のQCDを守る開発を重視していましたが、市場が飽和するとそれでは通用しません。どのようにしてイノベーションを起こすか、どのようにしてアイデアを事業計画に最短でまとめ上げるか等、手法と考える方をこの研修を通じて学ぶことができました。

須山 隆史 新日鐵住金株式会社 (第6回参加者)

中堅社員として案件規模が大きくなり関係者も増え、かつ後進の育成も任されるようになったことで、自らの知識・知見の再整理の必要性を強く感じ、この研修を受講しました。「プロジェクト・デザイン」をキーワードに受講した講義の中で私は、ステークホルダー分析・プロジェクト憲章の立案・チームビルディングなどリーダーとして遂行すべき入口管理のやり方、その後の各フェーズでのポイントを実習など交えご教授頂き、今まで体感的に得てきた知見を体系的な知恵に昇華する事が出来たと感じ、一回り成長できたと実感しています。

立石 隆章 三菱商事株式会社 (第5回参加者)

「プロジェクト思考」「デザイン思考」という物事の捉え方に大変な刺激を受けました。海外のプラント・インフラ建設プロジェクトに約10年従事して参りましたが、その経験を通じた暗黙知を、この思考の下で体系的に整理できました。その後、如何なる業務もプロジェクト思考で捉え、ゴールに辿り着く道筋を多くの関係者の役割や動機も含めてデザインすることで、組織と、そして自分自身の成果に繋げる事ができ大変感謝しております。

中村 功 株式会社東京証券取引所 (第8回参加者)

「慶應SDMのエッセンスをギュギュッと詰め込んだ」という触れこみどおり、合宿期間中は濃密な時間を過ごしました。特に、講義やグループワークの順序や時間割も練り込まれたもので、理解しやすいものでした。また、様々な業種から集まったメンバーから、多くの刺激を受けられることも合宿研修の大きなメリットです。

藤本 智裕 池田市役所 (第7回参加者)

当時は病院の経営企画部門に所属し、大阪でSDMやPMBOK、BABOKを個別に学んでいましたが、それらを統合的に学べる唯一の機会と思い、思い切って東京へ自費で参加しました。医療や行政の現場はそもそも答えのない問題だらけであり、このSDM×BABOK×PMBOKは、イノベーションのためだけでなく、非営利をはじめとするあらゆる組織が直面する問題解決のために、誰もが習得すべき不可欠な基礎的能力であると日々実感しています。

過去の受講者		● 総受講生 144名 (第1回～第8回)		男性 128	女性 16
役職別内訳		第5回以降のデータ (109名)		業種別内訳	
一般	31	課長級	14	システム	14
部長級	11	部長以上	9	メーカー	12
その他	6	マネジャー	7	自動車	11
その他	4	その他	6	商社	9
その他	4	その他	4	IT/IT機器	9
その他	4	その他	4	運輸	7
その他	4	その他	4	機械/電気通信	7
その他	4	その他	4	自動車部品製造	5
その他	4	その他	4	自衛隊員	5
その他	4	その他	4	銀行・保険	4
その他	4	その他	4	取引所グループ	4
その他	4	その他	4	コンサルタント	3
その他	4	その他	4	電機メーカー	2
その他	4	その他	4	教育	2
その他	4	その他	4	産業機械メーカー	1
その他	4	その他	4	その他 (学生など)	2

※学生、専門職など